

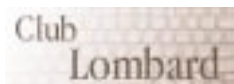
# Club Lombard

## Lombard開腹

### 必ずお読みください

PowerBook G3 Series (Bronze keyboard) (開発コード : Lombard)のハードウェアの増設・交換などに関する作業を解説したものです。すべての作業の前提として、個人で開腹した結果の故障については、保証修理にはならないことを了承し、自己責任において作業をしてください。作業に入る前は、かならずACアダプタとバッテリーは抜いておいてください。また、静電気にはくれぐれも注意してください。一瞬にして、全てを失うことがあります。

編集：ほしいち



[Club Lombardのホームページへ](#)

Produced by Hoshi-ichi.  
PDF file's supported by BlueGoat.

# Lombard開腹 3 - 1

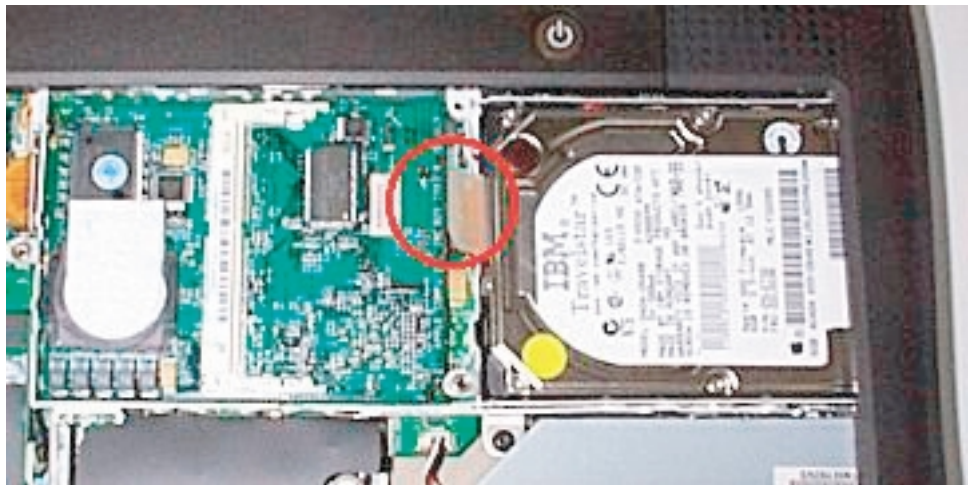
## ハードディスク交換

Lombardでは標準で4GB、6GBのハードディスクを搭載しています。扱うファイルサイズの増大に伴って、内蔵ハードディスクも大容量化していきます。Lombardに内蔵できるハードディスクドライブの最大厚は12.7mmです。

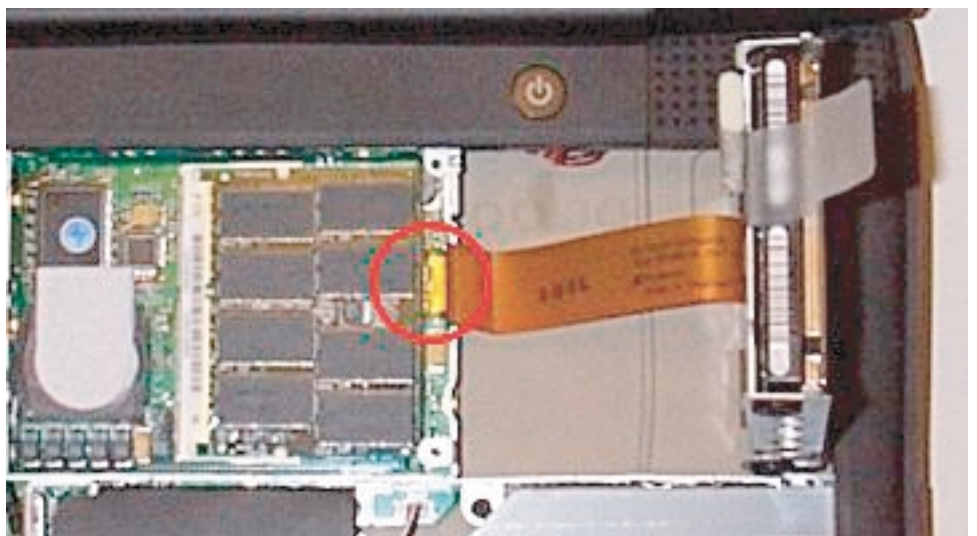
必要な工具：プラスドライバ、トルクスドライバ(T8)、キーボードロックねじをゆるめるマイナスドライバ  
作業時間の目安：馴れた人なら15分、初めての人でも40分くらい。

まず、**キーボードとヒートシンクをはずす（共通作業）**にしたがってキーボード、ヒートシンクをはずす。

[ 図 1 ] ヒートシンクまでをはずした状態。ハードディスク左側の半透明のフィルムを持って上に引き上げるだけで、簡単にドライブははずれる。円の部分のフィルムの下にコネクタがある。

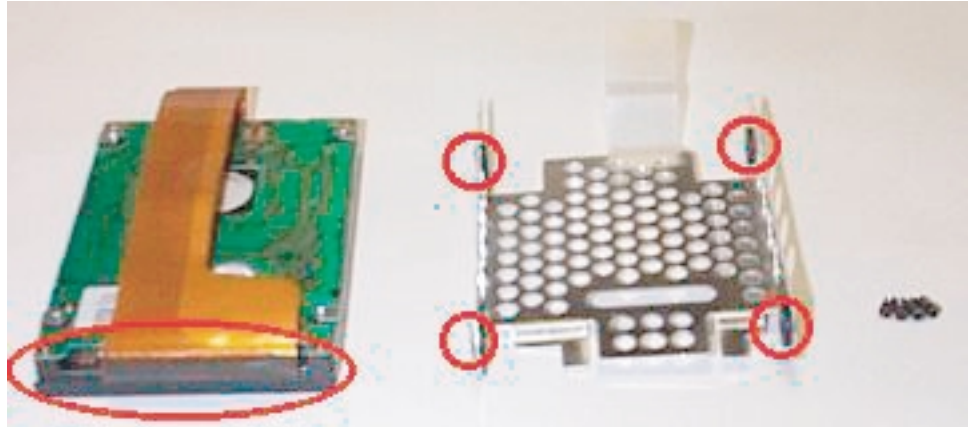


[ 図 2 ] ハードディスクドライブを引き上げた状態。円で示した部分がマザーボードとのコネクタ。注意深く抜くこと。

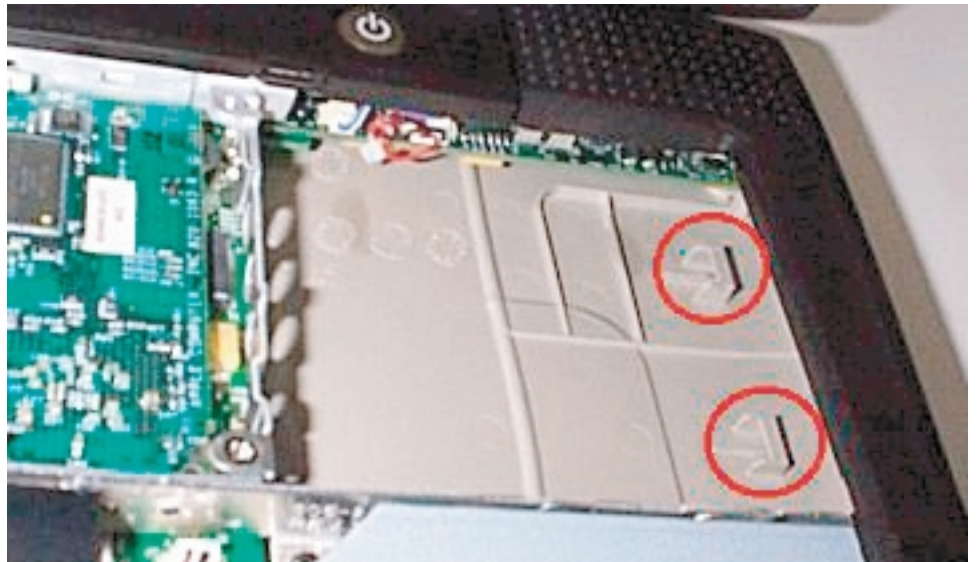


## Lombard開腹 3 - 2

[ 図 3 ] HDドライブをフレームに固定している4ヶ所のトルクスねじをはずし、ドライブをはずす。左がはずしたドライブ。フラットケーブルと隣にある薄い樹脂プレートははずし、新しいHDドライブに付ける。薄い樹脂プレートは冷却空気の整流効果があるので、できるだけ再利用したい。



[ 図 4 ] 新しいHDドライブをフレームに取り付け、それを本体に取り付ける。[ 図 2 ] のような状態にしておくとし、マザーボード側のコネクタをはめやすい。コネクタをはめたら、フレーム下側の2ヶ所のツメは本体側にあわせてHDドライブをはめこむ。



あとは、逆の手順でヒートシンク、キーボードを取り付ける。キーボードとヒートシンクをはずす(共通作業)にあるフェライトビードをヒートシンク下に挟まないように注意すること。ヒートシンクをはめるときは、奥側の5つのツメを本体側にしっかりと合わせる。キーボード手前の5つのツメもきちんとはめこむ。